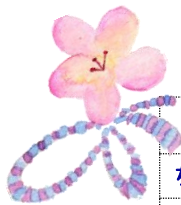




2026ねん1がつごう (no. 279) **やすとしょかん**



ほんかん	10:00~18:00 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-586-0218 ファクス 077-587-5976
ちゅうずぶんかん	10:00~17:15 (火ようび~日ようび)	でんわ 077-589-3382
ホームページ	https://www.lics-saas.nexs-service.jp/yasu/	



★おはなしの森

1月4日, 11日, 18日, 25日 (日)
場所: おはなしコーナー 10時30分~
絵本やかみしばいをよみます (3歳~)

★ちっちゃんおはなしの森

1月8日 (木) 11時~
場所: おはなしコーナー (0~3歳向け)

★ちっちゃんおはなしの森 in 中主

1月22日 (木) 11時~
場所: 中主分館 (0~3歳向け)

自然写真家
飯村茂樹さん講演会
『自然と遊び自然を撮る』
1月17日 (土) 午後2時~
場所: ホール (申込制)

1月のとしょかんカレンダー ※ 日はお休み						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4 おはなしの森	5	6	7	8 ちっちゃん おはなしの森	9	10
11 おはなしの森	12	13	14	15	16	17 飯村茂樹さん 講演会
18 おはなしの森	19	20	21	22 ちっちゃんおはなしの森 in 中主	23	24
25 おはなしの森	26	27	28	29	30	31

★写真パネル展示★

『滋賀で見つけた自然』 1月20日 (火) まで
野洲でとられた写真のパネルもあります♪

あたらしくはいったほん

『もしかするといるかもね』

いとうひろし/さく (童心社)

あめがふってきたので、ダイちゃんとドンちゃんが、かえろうとしていると、ガラガラガッシャーンとかみなりがおちてきました。ダイちゃんがあわてておへそをかくすと、「かみなりさんなんてしんじてるんだ」とドンちゃんがいてきて…。



『フェイクを見破れ!! 数字やデータのナゾをとく』

山口慎太郎/著 (JTBパブリッシング)

世のなかにあふれているさまざまな数字やデータの中には、よく見ると間違っているものがあったり、意味をわかってない大きな思いちがいをするものがあったり…。この本を読んで数字やデータの生み出すフェイク (うそ) を見抜く力を身につけよう!



『モネの庭』

カーチェ・ヴェルメール/作 野坂悦子/訳 (アチエロ) K723

かわりつづける自然のなかの光や色にみせられ、自分が求める「庭」をつくりあげた画家クロード・モネの伝記絵本。

モネの年譜や、代表作「睡蓮」にあえる美術館も紹介されています。



『友だちは名探偵』

加藤元/作 (主婦の友社) K913/ht

クラスでなじめず浮いているわたし (高木とわ) は、同じく浮いている仲間 (高木とわ) と大のなかよし。ある日、近所に変な猫カフェができたので、ふたりでいってみることに。すると、どんな小さなことを見逃さないががある事に気づいて…。



まるまる むちゅう 〇〇に夢中

『雪の写真家ベントレー』

ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン/作
メアリー・アゼアリアン/絵 千葉茂樹/訳
(B L 出版) K402

アメリカの大雪がふる小さな村に生まれたベントレーは、雪に魅せられ、雪の研究に一生をささげました。「雪の専門家」として、世界中の人々に雪の美しさをつたえたウィリー・ベントレーのお話。



『ココとリトル・ブラック・ドレス』

アンネマリー・ファン・ハーリングゲン/作
川原あかね/訳 (文化学園文化出版局) K289/シヤ

小さなココは、孤児院ではたらかされながらくらしています。おかげでココは、天使のようにぬいものや刺しゅうができるようになります。18さいでしごとを探せるようになったココには、こころにきめていることがあって…。フランスのデザイナー、ココ・シャネルを描いた絵本。



『いつもみていた』

ジャネット・ウィンター/作 まえざわあきえ/訳
(福音館書店) K289/71

ジェーンは、小さいころから生きものをみるのがだいすき。おとなになっても、「いつかアフリカに行って、サルたちとくらしたい」という子どものころのゆめをわすれず、アフリカに旅だち…。動物学者、ジェーン・グドールの人生をえがきます。



☆ほかにも、ジェーン・グドールの子どもの時代をえがいた絵本があるよ！

『どうぶつがすき』

パトリック・マクドネル/さく
ながわちひろ/やく
(あすなろ書房) E/174



『ぼくらのスクープ』

赤羽じゅんこ/著 (講談社) K913/74

社会科見学で出会った新聞記者にあこがれて、学級新聞を作ることにしたイダッチ。相棒は、変わりものの「魔王」。スクープを追い求め、真実を新聞にのせたいと言うイダッチに、魔王は「ものの見方は人によってちがうから、真実も人によってちがうだろ」と言う。



『牛をかぶったカメラマン』

レベッカ・ポンド/作 福本友美子/訳
(光村教育図書) K289/47

弟のチェリーがかぶったものの。かれ草のような茶色のもうふ、柱と布でつくった「木のき」、牛のはくせい…。どれもたった1枚の鳥の巣の写真をとるためだけに!! ユニークな方法で鳥に近づき、鳥の巣の写真をとることに成功したキーアトン兄弟の物語。



☆鳥の巣研究家の鈴木まもるさんの本もあるよ！

『世界の鳥の巣の本』

鈴木まもる/著 (岩崎書店) K488

家のそばのやぶの中で古い鳥の巣を見つけてから、ぼくの鳥の巣を求める旅は始まりました…。



『変化球男子』

M. G. ヘネシー/作 杉田七重/訳 (鈴木出版) K933/44

体は女子、脳と心は男子として生まれたシェーン。3年前口サンゼルスに引越してきたときには男子として転入し、野球に熱中する毎日を送っていた。ところがある日、野球の敵チームの選手に、女子だったころの写真を拡散されてしまう。

